

SIFA ニュース



NO. 126

2025 年度 秋号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

内 容

〔お知らせ〕

- わいわい春まつり実行委員募集
- ペルーのクリスマス料理講座

〔報告〕

- ベルフォンテン相互交流事業
- 夏休みの宿題支援教室
- 日本語サロンおいん活動 2 周年

鈴鹿国際交流フェスタ 2026

わ い わ い 春 ま つ り 実 行 委 員 募 集

来年のわいわい春まつりは、令和 8 年 5 月 17 日(日)に、ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿で開催します。

そこで、わいわい春まつりの実行委員 (昨年は 25 名でした!) を新たに募集します。

異文化交流を楽しみながら、みんなでアイデアを出し合い、笑顔あふれる楽しいおまつりを一緒に作りましょう♪



申込み方法：

11 月 30 日(日)までに、住所・氏名・電話番号を明記のうえ、電子メールで協会までお申し込みください。

◇第一回実行委員会

と き：12 月 3 日(水) 19:00～

ところ：ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 2 階 第 3 研修室

※以後毎月 1 回 (みんなで相談してきめます) 定例会を開催します。

※用事がある時は欠席 OK です。無理のない範囲でご参加ください。

ペルーのクリスマス料理講座

ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 1 階にある「リマキッチン」(12 月まで営業) のシェフ オオタケさんにペルーのクリスマス料理を教えてくださいます。ペルーならではのクリスマスの過ごし方のお話も聞ける楽しいひとときです。

と き：11 月 22 日(土) 10:00～14:00

ところ：ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 (鈴鹿市文化会館) 調理室

メニュー：ローストチキン、アロス・アラベ (ピラフ)、サラダ・ルサ

講 師：オオタケ ハビエルさん(リマ出身)

定 員：28 名 (先着順・賛助会員優先)

おかね：賛助会員 1,000 円、一般 1,500 円

申込み：11 月 15 日(土) 必着で、はがき・FAX・E-mail

にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、

協会 (〒513-0802 飯野寺家町 810

ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 2 階) へ

※ 受講案内は 11 月 15 日(土)より順次発送予定



鈴鹿市・ベルフォンテン市 青少年相互交流事業 2025

受入れ報告

*詳細版は SIFA ホームページをご参照ください

ベルフォンテン訪問団 受け入れスケジュール

7月30日(水)	鈴鹿到着⇒ホームステイへ
7月31日(木)	公式プログラム1日目
午前	名古屋城見学
午後	名古屋港水族館見学
8月1日(金)	公式プログラム2日目
9:15-9:45	東海醸造(株)見学
10:30-11:30	亀山ローソクタウン
12:00-12:50	昼食 (Gravy Burger)
13:00-14:00	白子中学校訪問 (学生間交流)
14:20-14:50	議場見学
15:00-16:00	市長・教育長表敬訪問
16:15-17:15	鈴鹿市消防本部
17:30-18:15	夕食 (インド村)
18:30-21:00	着物試着体験
8月2日(土)	終日ホストファミリーと過ごす
8月3日(日)	フェアウェルパーティ
8月4日(月)	鈴鹿出発 ⇒ 帰国の途へ



健康を支える食品として親しまれ、大豆由来の豊富な栄養に発酵の力が加わる伝統的健康食です。

東海醸造(株)では今では珍しい「底引きたまり」も製造しています。豆味噌を熟成させ、桶底に自然にたまった濃厚な液汁を丁寧に汲み出す製法で、香り高く奥深い味わいが特徴です。効率重視の工業製法では得られない旨味を守り続け、伝統を大切にしながら製造しています。



【亀山ローソクタウンにてキャンドル作りワークショップと工場見学】

キャンドル作りでは、色も形もさまざまなロウを自分で選んで組み合わせ、世界に一つだけのキャンドルを仕上げました。カラフルな素材を手取るだけで気分が上がり、学生たちは思い思いのアイデアを形にしていって過程をととても楽しんでいました。完成した作品を見せ合うと自然と笑顔が広がり、可愛いキャンドルがたくさん出来上がりました。その後工場を見学し、製造工程などを見て廻りました。



【白子中学校訪問 (学生間交流)】

ベルフォンテンの学生から毎年好評の学生間交流では、白子中学校の英語サークルのみなさんが日本の学校制度や夏祭りを紹介。さらに生徒たちの学校での一日を撮影した動画も制作して下さっていたので、学生や大半が教育者である引率者たちは、アメリカとの学校生活の違いや日本の夏祭り文化を楽しく学ぶことができ、貴重な体験となりました。



【市長・教育長表敬訪問】

最初に、ベルフォンテンのメンバーが、日本語で自己紹介を行いました。代表のライアン氏は過去の派遣生であり、今回で5度目の鈴鹿訪問でした。メンバーの中には前市長の娘さんとお孫さん、商工会議所会頭の息子さん、さらに母親が元派遣生という生徒も2名おり、両市の交流の歴史と深い絆を感じるひとときでした。



ベルフォンテン市長からの親書が末松市長に手渡され、その後、派遣生がプレゼンを行いました。オハイオ州の発明や名物、シンボルを紹介するクイズやオハイオでのアメフトの応援歌とダンスなどが紹介されました。



【鈴鹿市消防本部見学】

職員の方から消防署の日常的な業務や出動の状況、活動内容などについて簡単な説明を受けた後、3つの班に分かれ、はしご車の搭乗体験、消火活動の体験、そして消防車への同乗体験を行いました。

防火服を着てはしご車や消防車に乗り、サイレンを鳴らして走行する体験は本物の出動のようでとてもエキサイティングでした。消火体験では放水の勢いと操作の難しさを実感し、消防士さんの厳しい仕事を改めて感じました。



【着物文化体験】

この日の最後は、和装体験を行い、ベルフォンテンの生徒は着物を、ホストチルドレンは浴衣を着ました。

これは、アンケートでも最も好評で、皆とても楽しそうに、美しく着こなしていました。



【フェアウェルパーティ】

前日、ベルフォンテンのメンバーたちはホストファミリーと丸一日を過ごし、それぞれ、さまざまに思い出深い体験をしました。

そして翌日はフェアウェルパーティ。ホストファミリーへの感謝を込め、また、訪問団との別れを惜しみながら、二部構成で心温まる時間を楽しみました。

<第一部 @ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 さつきプラザ>

SIFA 理事長と鈴鹿市副市長のあいさつの後、末松市長の親書が訪問団代表に手渡され、メンバー11名全員がホームステイの感想を述べました。会場は和やかな雰囲気に包まれました。

メインイベントの「飯野高校プレゼンツ・大坊主めくり大会」では、飯野高校の英語コミュニケーション科のみなさんが百人一首と坊主めくりのルールを紹介した後、11組のホストファミリーがトーナメント形式で対戦。優勝・準優勝チームには賞品が贈られ、日本文化を体験しながら楽しい時間を過ごしました。



<第二部@ブラジルレストラン MUGEN>

会場をブラジルレストラン「MUGEN」に移し、ビュッフェ形式の食事をしました。彩り豊かな料理に皆、興味津々でした。



食後はライブステージで音楽を満喫。フォークローレの WATAY は手拍子で盛り上がり、ケニア出身の Monicah's Bounce はアフリカンソングや Sukiyaki Song 「上を向いて歩こう」などを披露し、また、英語で SIFA との関わりも紹介してくれました。



音楽を通して会場は一体感に包まれ、最後に代表ライアン氏のお礼のあいさつで、フェアウェルパーティは盛況のうちに幕を閉じました。

翌日、彼らは鈴鹿を出立しました。

鈴鹿で過ごした日々が、ベルフォンテンのみなさんの心に忘れられない思い出として残り、今回築かれたご縁が、これからも続いていくことを願っています。

忘れ得ぬ、熱い夏の6日間でした。

夏休みの宿題支援教室

7月28日（月）から8月22日（金）までの期間、市内3か所で「外国につながる小学生のための夏休み宿題支援教室」を開催しました。

桜島小学校で7日間、ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿（鈴鹿市文化会館）で8日間、鈴鹿工業高等専門学校で4日間行い、延べ291名の子どもたちが参加しました。延べ187名のボランティアの方々が協力し、子どもたちの学習を支えてくださいました。

この教室では、サマーワークをはじめ、ポスター制作や習字、読書感想文など、家庭ではサポートが難しい課題もみんなで取り組みました。

また、今年も多くボランティアの方々にご協力をいただきました。事業開始当時から引き続きご参加いただいている方々をはじめ、外国ルーツの高校生の方々や鈴鹿医療科学大学の方々にもご参加いただきましたことに感謝を申し上げます。

子どもたちからは、「寄り添ってもらえてうれしかった。」「最後まで宿題を終えられた。」という喜びの声が聞かれました。また、支援に入られた外国ルーツのボランティアさんに、少し未来の自分の姿を重ねることができました。

学びを進めるだけでなく、励まし合いながら自信をつけ、安心して過ごせる時間となり、この教室が「心のよりどころ」にもなっていることを感じました。

来年も教室を予定していますので、多くの方の参加をお待ちしています。



日本語サロンおいん

日本語サロン“おいん”が始まって、2年がたちました。

このサロンの目的は、外国人も日本人も、日本語での交流を通して互いのことを知り合うことです。毎回テーマを決めて、そのことについてお話ししています。

日本語があまり得意でない方でも、やさしい日本語で話したり、絵や写真を見せたりしながら、さまざまなやり取りを楽しむことができます。

サロンでの情報交換がきっかけで、トレッキングに出かけて鈴鹿セブンマウンテンのピンバッジを手にした人や、地域の夏祭りに参加した人もいます。

地域に住む外国の方とお話しする機会は、意識していないとなかなか持てないものです。

“おいん”は、毎月第1土曜日の9:00～10:00に牧田コミュニティセンターで開催しています。どうぞ気軽にお立ち寄りいただき、楽しい交流のひとつを過ごしてみませんか。



公益財団法人鈴鹿国際交流協会(SIFA)

〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町 810 ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 2階

TEL:059-383-0724 FAX:059-383-0639 ✉ sifa@mecha.ne.jp URL:<http://www.sifa.suzuka.mie.jp>